

日本広告審査機構（JARO）と ACAP の交流会 報告



ACAP 坂田祥治理事長



ACAP と JARO の意見交換会



JARO 松木俊介専務理事



2025年2月17日（月）、太陽生命日本橋ビル26階会議室において、「日本広告審査機構（以下、JARO）と ACAP の交流会」が開催された。講師に JARO 事務局長 川名 周氏、審査課長 吉田 巖氏、渉外リーダー 堀口 幸彦氏を招き、ACAP からは坂田理事長、齊木専務理事、交流活動委員、正会員・個人会員ら、会場・オンラインを含め総勢 63 名が参加した。

岡村交流活動委員の司会進行のもと、坂田理事長の「JARO 様と ACAP のつながりは古く、今から 30 年前の 1994 年に「消費者問題で理解を深め合う」とのテーマで懇談会をさせていただいた。JARO 様がどのように広告の公平性を保ち、消費者の信頼をえているのか、また ACAP のカスタマー・ハラスメント対策の取組みを通じて、両団体のさらなる消費者問題の理解を深め合う場としたい」との挨拶で開会した。

講演 1 は、「日本広告審査機構（JARO）の取組み紹介」として、以下の順で進行した。

1. JARO 概要説明 (JARO 事務局長 川名 周氏)
2. JARO の審査概況と見解事例 (JARO 審査課長 吉田 巖氏)
3. JARO 創立 50 周年事業 (JARO 事務局長 川名 周氏)
4. JARO の会員メリット (JARO 渉外リーダー 堀口 幸彦氏)

JARO 全体の取組みや、若年層の認知度向上に向けた TikTok、Youtube での啓発活動、広告表示のコンプライアンスの考え方や審査、適正化の推進など、JARO の 50 年間を通じた活動について解説があった。

講演 2 は、「ACAP の取組み紹介」として、齊木専務理事より、「自主研究会」「業種交流会」などの説明のほか、「消費者庁幹部と ACAP 会員企業役員との懇談会」などを通し消費者庁とも関係性が深い団体であることを紹介した。また、カスタマー・ハラスメント対策の支援として、ACAP の研修などの取組みおよび東京都カスタマー・ハラスメント防止条例の策定に関わっていることが紹介された。

講演 3 は、木村交流活動副委員長の司会進行のもと、講演・事例発表いただいた JARO の川名事務局長、吉田審査課長、ACAP の坂田理事長、齊木専務理事の 4 名に再び登場いただき、事前質問に対する解説や質疑応答、意見交換が行われ、活発な意見交換が行われた。

最後に、JARO の松木専務理事より「日頃から立ち話程度の意見を交換していたが、このようにしっか

りした形で交流会ができたことが、改めて様々な問題を深めあう機会となった。企業は消費者志向経営を掲げる中で、商品開発や企業活動における努力と苦勞が想像を絶するような部分があることを今回改めて感じた。大手の企業担当者は広告表示への深い理解と経験を持ち、不適切なことをすることは多くはない。しかしながら、CMに取り組むスタートアップや中小企業は、意図せず不適切な表現になってしまうということが見受けられる。勉強する時間、やり方がわからないという前向きな企業に向けJAROとして支援をしていきたい。そのためにも、JAROに興味をもっていただけるとありがたい。」と結びの挨拶があり、閉会となった。

酒井亜子（交流活動委員会／株式会社ジーネクスト）

無断転載・転用禁止

©the Association of Consumer Affairs Professionals (ACAP)